

これからの高齢者医療に 最適なソリューションを提供する



医療法人嘉健会
思温病院

大阪市南西部の 高齢者医療を支えるケアミックス病院

3つの病棟機能で
急性期、回復期、長期療養に対応し、
大阪市内でも高齢化が進む南西部を中心に
地域の多彩な医療ニーズに応えています。

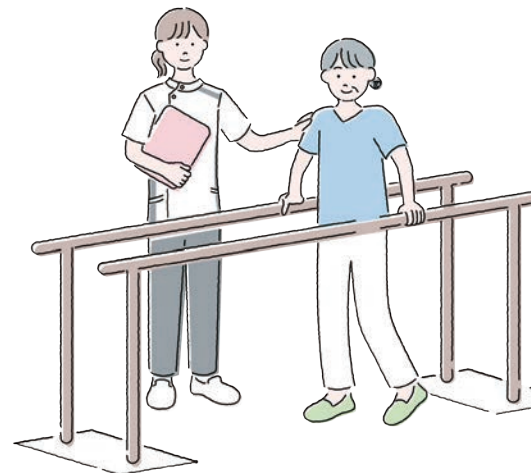
急性期一般病棟



60床

- 高齢者を中心とした救急診療、急性期医療・看護
- 在宅医療患者の増悪時の救急診療、入院医療・看護

地域包括 ケア病棟



60床

- 高度急性期病院での治療後、自宅退院までの回復期医療・看護
- 集中的な入院リハビリテーション等による自宅退院支援

療養病棟



60床

- 長期療養を要する高齢者への慢性期医療・看護
- 在宅復帰、日常生活支援に向けたリハビリテーション

病院概要

理事長／院長	狭間 研至
所在地	大阪府大阪市西成区松1丁目1番31号
TEL／FAX	06-6657-3711(代表)／06-6652-2322
許可病床数	180床
病床種別	急性期一般病棟60床、地域包括ケア病棟60床、医療療養病棟60床
標榜診療科目	内科、高齢者内科、心不全内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科
職員数	223人(常勤換算数：医師11人、看護職員83人、看護補助者56人、薬剤師5人、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士26人、診療放射線技師3人、臨床検査技師4人、管理栄養士5人、他30人)
施設認定	病院機能評価認定病院／日本版医療MB賞クオリティクラブ加盟／経営品質協議会経営デザイン認証／救急告示病院／日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設／日本血液内科学会認定研修教育施設／開放型病院／在宅療養支援病院

理事長ごあいさつ



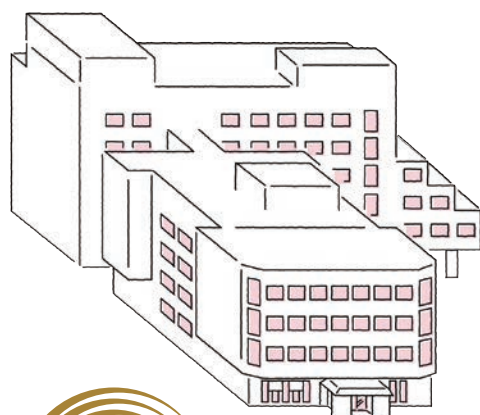
理事長・院長 狭間 研至

地域に安心安全を届ける病院をめざして

「思温病院があるから、安心・安全」と思っていただくこと。これが当院の一番根っこにある考え方、すなわち当院の理念です。

患者さんにとっては、体の調子が悪くなった時や、健康診断で異常を指摘されたり、思わぬけがをした時などに。地域の医療機関の皆さまにとっては、少し詳しい検査が必要な時や、訪問診療している患者さんの調子が優れない時、また、病院での治療後すぐの退院は難しい患者さんをもつ時などに。介護施設や介護に携わる皆さまにとっては、利用者さんが急に発熱やけがをされた時や、少しずつ食べる量が減ってきてもう限界という時、ご家族の負担を一時的に軽くしてあげたい時などに、「思温病院がある！」と思っただけで、安心・安全と思っていただくための取り組みに、日々尽力しています。

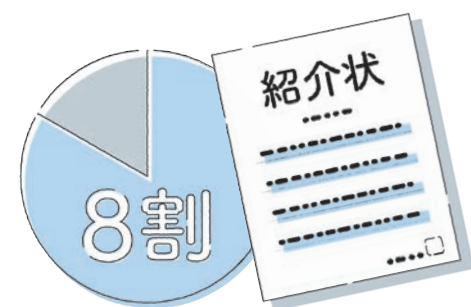
地域の皆さまのお役に立ち、患者さんに喜んでいただけることを一番の目標にできるスタッフが、それぞれの専門性を超えて協力し合い、改善・改革を続けてまいります。



!! 地域との連携 !!

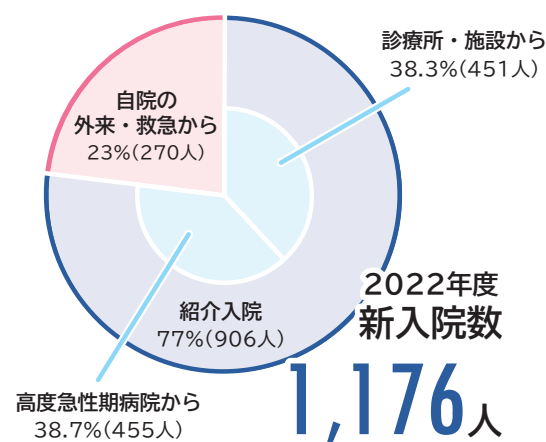
高齢になっても医療面の不安なく暮らせるよう、日常の外来診療・在宅医療を担う地域の診療所の先生方や、高度医療を担う高度急性期病院、また高齢者施設等と密な地域医療連携体制を実現しています。

地域医療連携体制



地域医療連携体制を強化し
入院の約8割が紹介入院に

病院に入院される経路は自院外来からと、他の医療機関からの紹介に大別されます。当院の場合、自院外来から入院される方は2割程度で、残りの約8割は地域の他の医療機関からの紹介入院です。紹介入院の半数は地域の診療所からの高齢者に多い肺炎・大腿骨頸部骨折等で入院治療が必要となった場合の紹介入院、残りの半数は高度急性期病院で高度医療による集中的な治療を受けられた後の一般急性期・回復期・療養目的での紹介入院となっています。



開放型病院

入院病床を持たない
地域の診療所を支援する

地域医療の一番の担い手は日常の外来診療や在宅医療に取り組む診療所の先生方ですが、一般の診療所には病床がないため、入院が必要となった際は他の病院に任せることになり、継続して治療に参加することができません。当院は、病床を診療所の先生方にも使用していただくことができるよう開放しています。あらかじめ連携医として登録いただくことで、当院の病床を利用して、入院中もかかりつけ患者さんの治療に参加していただくことができます。

在宅療養支援病院

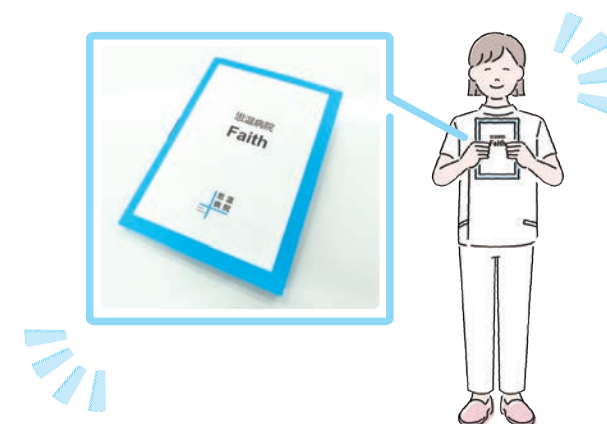
高齢等で通院困難な患者さんの
在宅医療を支える

入院医療が必要な病状ではないが、外来通院が困難になった患者さんへは、地域の診療所による在宅医療の提供が欠かせません。しかし、医師数や医療スタッフ数が限られる診療所だけでは、在宅医療を24時間365日カバーすることはできません。この問題を解決するのが在宅療養支援病院です。当院は在宅療養支援病院として、複数の診療所と連携・相互補完して24時間365日の在宅医療を実現させる要の役割を担っています。

!! 院内での連携 !!

診療所と異なる病院医療の特色の一つは、医師以外の専門職を多数配置している点です。それぞれの職種がそれぞれの立場で円滑・活発な院内連携を図りながら、病院医療を提供しています。

病院理念の定期共有



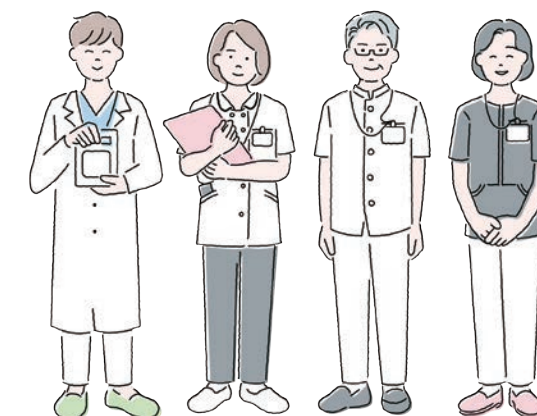
多数の専門職が同じ方向を向けるよう
Faith(フェイス)を共有

多数の専門職で構成される当院の存在目的は、病院理念に掲げる「地域の方々に安心・安全を提供する」ことです。そこで当院では、この理念の実践方法を具体的に記した「Faith(フェイス)」という小冊子を作成。全ての職員が常に携帯し、各科や部門で毎日唱和するなど、病院理念の共有に努めています。

Faithに掲載されている 当院のミッション

- 私たちは「思温病院」ならではのホスピタリティで、患者さんとそのご家族に笑顔で対話のある医・薬・看・介を提供します。
- 私たちは、医・薬・看・介を通じて地域の方々に信頼される病院運営をめざします。
- 私たちは、常に時代のニーズに耳を傾け、ご要望にお応えできるように改善・改革を続けます。

チーム医療



多職種によるチーム医療が
活発に進む職場風土

病院医療サービスは医師だけでなく、看護師、介護福祉士、看護補助者、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、診療情報管理士、医療事務といった多くの専門職の連携により提供されています。そして、これら多職種の力を活かすために必要なのは、各専門職がそれぞれの立場から気兼ねなく意見しあえる病院の風土だと私たちは考えています。全ての職種・役職が同じ病院理念「Faith(フェイス)」を毎日唱和し、共有する当院ではその風土が培われ、一人ひとりの患者さんへチームで医療を提供する組織風土が根付いています。この風土を背景に、医療安全管理・院内感染防止対策・褥瘡対策・栄養管理・ハートチーム・緩和ケアなど、院内に設置した20を超える委員会やワーキンググループが円滑・活発に活動し、各職種がそれぞれの場面で専門職としての力を十二分に発揮しながら、病院医療サービスの質向上に寄与しています。

高齢者医療に特化した領域に注力

心不全をはじめ嚥下のトラブルや誤嚥性肺炎、吐血・下血、骨折といった高齢者に多い症状に院内で対処することが可能です。

心不全内科・循環器内科

高血圧、心不全などの診療に加え心臓リハビリテーションにも取り組む

高血圧や脳梗塞の原因にもなり得る不整脈、近年急増しパンデミックとも称される心不全など、種々の心臓・循環器疾患に対する検査・診断・治療に加え、高次医療機関への転院や緩和ケアまでトータルにサポートします。また、心臓手術やカテーテル治療など急性期病院での治療を終えても早期の退院が難しい方の転院を受け入れ、薬剤調整や退院をめざした心臓リハビリテーションも行っています。

ハートチーム

多職種連携で心不全診療に取り組みターミナルケアにも積極的に対応

心不全に対し、循環器内科・心臓血管外科を専門とする医師だけでなく、薬剤師、看護師、管理栄養士、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士からなる「ハートチーム」による多角的治療を行います。多職種がそれぞれの専門性を生かして治療や再発予防に取り組み、また、病状の進行に伴い終末期ケアが求められる方についても積極的に対応しています。

消化器内科

消化器疾患に対する投薬や検査と内視鏡下の胃ろう造設にも対応

食欲不振や胸のつかえ、便秘・下痢等の症状に、必要な検査を行った上で適切な投薬治療を実施します。症状に応じて上部・下部の消化器内視鏡検査や止血、ステント留置、総胆管結石の切石、胃がんの粘膜切除等にも対応。嚥下困難な患者さんに対しては、嚥下内視鏡で評価した上で、内視鏡下の胃ろう造設も施行します。また、嚥下リハビリテーションや食事の工夫等も積極的に行います。

血液内科

日本血液学会の認定施設として血液内科専門医による治療を行う

内科の中でも特に専門性の高い血液疾患。日本血液学会の研修教育施設に認定されている当院では、大阪市内、大阪市近郊にある急性期病院の血液内科とも連携しながら、血液内科専門医による専門的治療を行っています。院内では、医局が看護部・薬剤部・栄養科・リハビリテーション科との密接な連携によるチーム医療に取り組んでおり、入院・外来における治療をスムーズに受けいただける体制を整えています。

高齢者内科

高齢化が進む地域で高齢者施設との連携も強化

市内で最も高齢化率が高い西成区にある当院は、近隣の介護施設や関連の有料老人ホームとも連携し、複数疾患だけでなく認知機能や身体機能の低下がみられる患者さんを支援しています。医療、介護の専門職がそれぞれの専門的知見を生かしながら、治療やケアを進めます。60日での退院をめざす地域包括ケア病床や、長期にわたって医療的ケアを行う医療療養病床も設置しています。

外科

中心静脈ポート埋込術に加え消化器がん術後の患者さんに対応

現在は、胃がんや大腸がん等の手術は行っていないですが、急性期病院での消化器外科術後の患者さんのリハビリテーションや栄養管理、けがや粉瘤等の外来処置や、入院患者さんの褥瘡治療を行っています。また、経口摂取が難しく、胃ろうの造設もできない患者さんに対しては、高齢者内科とも連携し、ご本人やご家族とよく相談をした上で、中心静脈ポートの埋込術も施行しています。

ACP

がんや加齢性疾患に対し適切な医療が行えるよう支援

医療の現場では、患者さんがご自身の思いに沿わない治療法で医療を受けざるを得ないケースが少なからずあります。こういったことを避けるため、当院では「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）ノート」を独自に作成しています。時間をかけて病状をきちんと理解し、自分が受けたい医療のあり方を明文化していくことで、患者さんが最も望む治療を受けられる体制づくりをめざしています。

整形外科・リハビリテーション科

転倒・骨折への処置やADL向上をめざした治療を実施

介護を受けながら過ごす高齢者にとって、転倒やそれに伴う骨折は珍しいことではありません。そのような際に迅速に診断し、必要に応じて外科治療を行える体制を整えています。また、高血圧や糖尿病等の生活習慣病患者に加え、認知機能が低下している方についても、高齢者の診療を数多く行ってきた経験を生かし、必要な治療を安全に受けていただき、もとの生活に戻るよう支援します。



医療法人嘉健会
思温病院



〒557-0034
大阪市西成区松1丁目1番31号
電話番号：06-6657-3711

